

別記  
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事		令和元年12月9日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府綾部市城山町8番地		氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 綾部エンブラ株式会社 代表取締役 牛田 敬人
環境マネジメントシステムの名称	JIS Q 14001:2015	
適用範囲	グンゼ株式会社エンブラ事業部江南工場、綾部エンブラ株式会社	
導入年月日	2002年1月18日	
認証番号	E1941	
基本方針	グンゼ株式会社 エンブラ事業部江南工場及び、綾部エンブラ株式会社は、エンジニアリングプラスチック製品の開発から生産に至る、全ての事業活動と、これらの製品・サービスの環境影響を低減し、また、生物多様性の保全に配慮するために、次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進します。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	1. 廃棄物削減 : 生産歩留率向上 2018年度比 103%目標 2. 溶剤の削減 : 2018年度比 溶剤排出量 0.2P削減	
目標を達成するための取組の内容	1. 製品歩留を向上する ①異物不良削減 ②移管品番の早期職力化、能率改善による原価低減（原単位向上） ③切替ロス、切替工数低減をする（切替初期流動管理強化） 2. 省溶剤対策 ①切替回数、切替ロスの削減 ②原料吐出チェック量の削減	
目標を達成するための取組の進捗状況	1. 製品歩留を向上する ■歩留り報告確認（毎月） ■未達成部門の原因調査と対策の検討（日毎、毎週、毎月） ■廃棄物量の推移観察（毎月） 2. 省溶剤対策 ■切替状況、吐出チェック量の確認（毎月） ■進捗遅れについては原因調査と対策の考案（毎週、毎月）	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	計画通りに実施できており、問題なし	
事業活動に係る法令の遵守の状況	本社管理/発行の条例も含む、法規改訂情報をもとに遵法どおりか毎月確認。必要届出の遅延が無いが、行政届出計画一覧に基づき、月毎に確認を実施。これらの管理の元、現状は問題なし	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	「マネジメントレビュー基準」に従って、環境マネジメントシステムの見直しを行い、システム改善の機会があるかどうか及びシステム変更の必要性について検討する。 見直しは各報インプット情報を受け、年2回（6月及び12月）の実施を原則とし実施する。見直しは次の項目について考慮するよう実施する。 ・トップの方針に関する伝達事項 ・内部環境監査結果及び環境影響評価の結果を含む当工場の環境パフォーマンス ・法的要求事項及び組織が同業するその他の要求事項の順守評価報告 ・利害関係者からの申し入れ、苦情、交渉、その他の情報 など 2017年12月の見直しの結果、これまでの取組に一定の効果があつたため、見直しは必要なし	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。